

## 気候変動に適応する小麦高品質安定生産技術の開発

- 実施期間：令和4～8年度
- 担当部署：作物部
- 区分：地域密着型研究・県単

### ○研究内容

小麦栽培では、天候不良により播種作業が遅延する年は収穫量が大きく減少し不安定生産の要因となっています。また、経営面積の拡大に伴う品目間の作業競合により穂肥施用が難しく、一部の大規模経営体では、穂肥を省略する基肥一発肥料の導入も行われていますが、本県の気象条件に合わず、収量・品質の低下要因となっています。

そこで、晩播に対応する栽培技術（播種量、基肥、条間等）の確立や、本県の気象に適した新たな一発肥料を開発します。

